

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語運用能力演習	
科目基礎情報							
科目番号	0042		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学専攻		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		1		
教科書/教材	『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST REVISED EDITION』Yoshizaki Hiroshi他、SEIBIDO						
担当教員	岡田 美鈴						
到達目標							
1. TOEICで400点相当の得点を取ることができる。 2. 全般的な英語運用を支える基礎的能力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	TOEIC400点以上の得点を取ることができる。		TOEIC400点相当の得点を取ることができる。		TOEIC400点相当の得点を取ることができない。		
評価項目2	内容に対して自らの意見を論理的に記述することができる。		内容に対して自らの意見を記述することができる。		内容に対して自らの意見を記述することができない。		
評価項目3	内容に対して自らの意見を論理的に述べるることができる。		内容に対して自らの意見を述べることができる。		内容に対して自らの意見を述べることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEICへの対応能力養成を軸に、全般的な英語運用能力の向上を図る。テキスト各課内容を学習することでReadingやListening能力の向上を目指す。適宜小テストを課す。さらに、身近なトピックに関してディベート活動を行い、SpeakingやWriting能力の向上も目指す。						
授業の進め方・方法	テキストの問題をテスト形式で解答することで実際のTOEIC公式テストに慣れていき、その後の解説で内容の理解を深める。ディベート活動では情報収集、双方向からの意見出し、グループでの議論構築などを行い、ミニディベートやクラス全体でのディベートを実施する。自宅ではテキストの復習とスピーチ原稿の作成を行い、適宜提出する。また、テキストの内容理解を測るため定期的に小テストを実施する。						
注意点	提出物の期限を厳守すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス Unit 1 Restaurant		授業の進め方、テスト、テキスト、シラバスなどについての説明 内容理解		
		2週	Unit 2 Entertainment		内容理解		
		3週	Unit 3 Business		内容理解 ミニディベート活動		
		4週	Unit 4 Office		内容理解		
		5週	Unit 5 Telephone		内容理解		
		6週	Unit 6 Letter & E-mail		内容理解 ミニディベート活動		
		7週	Unit 7 Health		内容理解		
		8週	Unit 8 Bank & Post Office		内容理解		
	4thQ	9週	Unit 9 New Products		内容理解 ミニディベート活動		
		10週	Unit 10 Travel①		内容理解		
		11週	Unit 11 Travel②		内容理解		
		12週	Unit 12 Job Apprications		内容理解		
		13週	Unit 13 Shopping		内容理解 ディベート活動		
		14週	Unit 14 Education		内容理解 ディベート活動		
		15週	定期試験				
		16週	試験解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0